

学校通信



喜多見



No.11 令和5年3月23日

喜多見の学び舎
世田谷区立喜多見中学校
校長 紺谷 祥一

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見4丁目20番1号 TEL 03-3417-4971(代)

E-mail : dai131@setagaya.ed.jp <http://school.setagaya.ed.jp/tkitami/>

三年生が「伝えた」もの

校長 紺谷 祥一

20日(月)、108名の三年生が喜多見中を巣立ちました。令和2年4月7日に発出された緊急事態宣言を受け、6月9日に入学式を迎えた三年生の中学校生活は、まさにコロナと共にあった3年間でした。中学校入学を楽しみにしていながら、運動会は縮小され、河口湖移動教室や合唱コンクールは中止。二年生になって初めて午後もある運動会を経験しましたが、「職場体験」は第5波によりまた職業講話等に取って代わりました。

学校生活において、「先輩」は「すごさ」を感じる大きな存在です。特に中学校では、後輩は部活動で圧倒的な先輩の高い技術を目の当たりにしたり、行事では先輩の「パワー」や「質」、「学級の団結」等を、鳥肌を立てて実感したりします。頼りになる先輩と行動を共にして後輩は大きく成長し、やがて、先輩は目標になります。しかしながら、卒業した三年生たちは、先輩との十分な交わりがないまま先輩となって今年度を迎えたのでした。

最高学年になった三年生は、今年度「伝える」という学年目標を掲げました。そこには、先輩としての責任と、自分たち自身を鼓舞しようとする思いがあったのではないかでしょうか。5月の運動会 — 明るいS先輩の選手宣誓や、必死に声を掛け合ってゴールしたムカデ競争など、仲間と一緒に目標を共有できる嬉しさ、大切さを改めて三年生から学びました。秋は修学旅行でも — 宿をはじめ、訪問する先々で『こんなに行儀のよい生徒さんは滅多にありません』と、褒められました。その一方で、楽しむべき時は和気あいあいとし、心の底からの笑い声がありました。事後、後輩を交えて体育館で行った「修学旅行反省会」は本当に型破りで、数々の楽しい企画に二年生は目を奪われていた様子でした。会の最後に当たり、お礼のマイクを握った二年生代表生徒が、『早く僕たちも反省会をやりたいです！』と言ったのには、私も思わず声を出して笑ったほどです。圧巻は合唱コンクール。三年生には最初で最後の合唱コンクール。しかし、練習の段階から後輩たちの模範となりました。参加できる喜びを感じながら、その行事のもつ意味や目的を意識して取り組む様に胸が熱くなりました。縦割り学級の後輩の前で見せたステージでの歌声は、まさに先輩の「すごさ」でした。心残りは、三年生たちの授業中の様子を後輩たちに見せられなかったことです。受験直前こそ、数人がコロナ感染を危惧して欠席していましたが、非常に多くの生徒が授業を大切にしていた様子がありました。英語の授業など、先生のモデルリーディングに続いて音読する声は、何と校長室までよく聞こえていたほどです。「受験は団体戦」のスローガンのもと、最後の一人が進路を決めるまで気を抜いた態度をとることのなかった姿にも、感心させられました。

長引くコロナ禍にあっても、喜多見中の「先輩・後輩のバトン」は途切れることなく、しっかりとリレーがなされました。今年度は、重点目標に「共感」「自律」「挑戦」のスローガンを掲げ、取り組んでまいりました。学校や家庭、或いは、地域のもつ「教育力」は大きな影響力をもちます。しかし、それら以上に子どもたち自身がもつ「教育力」の力は強く、非常に尊いものだと感じさせられた一年間でした。至らぬ点も多々あったかと存じますが、保護者ならびに地域の皆様には、厚くご理解及びご協力をいただきましたこと、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



学校関係者評価の結果について

今年度の学校関係者評価委員会は、既に2月13日にヒアリングを済ませ、3月20日(月)に今年度最後の委員会も終了しました。席上、長引くコロナ禍でも学びを止めることなく生徒の満足度の高い教育活動ができていること、教職員のチームワークの良さや、保護者の皆様の理解と協力の姿勢を強く感じる、等の評価をいただきました。アンケート結果等は、間もなく本校ホームページ上に掲載いたしますのでご覧ください。

学校関係者評価委員の皆様には、お忙しい中本校のためにご尽力くださいましたこと、御礼申し上げます。

【令和4年度学校関係者評価委員会の皆様】

香取 葉子 様（民生児童委員）、坂本 雅則 様（民生児童委員）、菊井 善美 様（卒業生）

箕輪 文江 様（元小学校長）、小沼 泰浩 様（元PTA会長）、藤山 昌彦 様（保護者）

百田 かんな 様（元PTA会長）、宮戸 達彦（まちづくりセンター長）

1年生の様子から（学年主任 飯森有子）

1年生は、「自分の良さを知ろう～3つのC チャンス・チャレンジ・チア～」の学年目標のもと、中学校生活最初の1年間を全力で取り組んできました。学校行事も少しずつコロナ禍以前のように行われるようになってきた中で、初めての運動会の取り組み方や定期考査に向けた勉強方法など、上級生から「教えてもらう」機会が多くあったことはとても有難いことでした。そして、教えてもらったことを活かしていくこうという素直さと一生懸命さが1年生全体の良い点です。だからこそ、まだまだ大きく伸びていけると思います。

学年最後の取り組みとして、総合発表会を行いました。有志のダンス発表や職業調べや英語のスピーチ、クラス合唱、「13歳の主張」など盛りだくさんの内容でしたが、これまでの授業で取り組んできたことをさらにレベルアップさせて全体の前で発表・共有できたことは大きな収穫です。「チャレンジする勇気」と「お互いを支えるチア」そして「みんなで楽しむ」1年間の締めくくりを迎えることができました。保護者の皆様、ご理解とご協力をいただき本当にありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

3C



2年生の様子から（学年主任 岡部宏子）

2年生は、3月3日に校外学習で鎌倉に行きました。「協力・礼儀・自律」という目標を自分たちで立て、準備の段階から主体的に考える取組みがありました。事前学習では、1人1人が名所やテーマに沿って、各クラスでガイドブックを完成させました。そしてそれを参考に、事後学習の鎌倉CMづくりに向けて、班でアイディアを出し合っていました。当日は、「色々調べて行ったけど、現地ではインターネットの画像とはまた違い、その迫力に圧倒されました」、「計画を細かく立てても、班の協力はとても大切で、すぐに団結できるみんながすごいと思いました」、「時間通りにゆかず予定が変更になったけど、焦らずその場で冷静に話し合い、対応することができました」など、自分たちで考え方判断したり、相手を認めたり、大きく成長する姿がありました。そして2年生最後の学年集会では、鎌倉CMを、仲間、そして1年生に発表しました。その堂々とした姿は、これから最上級生になるという頼もしさであふれています。

また、様々なことを教えてくれた3年生に感謝の心を「伝える」メッセージを送りたいという生徒たちの強い思いで、「ありがとう」の動画を制作しました。「温かく誠実な心」を学年目標に、1年間、生徒と共に生活する中で、様々なことがありました。その中で生徒が目標を実現し、大きく成長する姿に、私は心から感動しています。保護者の皆様、昨年度に引き続き、ご理解、ご協力、そして生徒、学年を支えていただき感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

3年生の様子から（学年主任 石川美穂）

3年生は3月20日（月）に無事卒業式を終えることができました。今年度は「伝える」をテーマに様々なことに取り組んでいきました。3月17日（金）には自分たちで企画したミニ文化祭で盛り上がり、最後に楽しいひとときを過ごすことができました。1・2年生には、学年集会に参加してもらったり、卒業前にはメッセージやビデオレターをもらったりしました。後輩にもたくさんの「伝える」をもらった1年でした。喜多見中学校で学んだことを胸に、高校でも頑張ってほしいと思っています。保護者の皆様、3年間ご理解とご協力をありがとうございました。



わたしの授業

今年度最後の「わたしの授業」は 佐藤 龍児 先生（本校1年目、1A担任、理科、体力増進部顧問）です。ICTに長ける佐藤先生の授業は、分かり易く楽しいと評判。また、その理科的事象が起こる理由や仕組み、メカニズムを言葉で説明できるように指導されるので、本質的理解が深まります。実験前の合言葉—「ご安全に！」の子どもたち声が理科室から聞こえています。

私の授業は、「なんでだろう」と疑問に思う気持ちや「どうなるんだろう」と思う好奇心を大切にしてスタートすることを心がけています。そしてゴールは学びを通じて自分なりの考えをもつことを掲げています。また、ゴールへの道のりは、「学び合い」という学校だからこそできることに力を入れて取り組んでいます。

さて、ここでは担当する理科（科学）についての私なりの教科観について触れたいと思います。科学というと冷たいイメージを抱きがちですが、全く真逆のイメージです。科学は失敗しても泥臭く学ぶような、人間味溢れるものだと考えます。

例えば中1では、化学の導入として『白い粉末の区別』という実験を行います。ここでは自分たちの考えた方法で正体のわからない白い粉を判定するというものですが、中1の生徒は予備知識もほとんどない状況なので大人が思いつかないような様々な方法を考えます。当然、やってみたけれど白い粉を判定するのには全く意味のなかったというような方法も出てきます。生徒はがっかりしますが、ここにこそ真髄があると思っています。意味がなかつたと経験できたことには、大いに意味があるとあえて情熱的に語りかけることにしています。

様々な失敗や経験から自分はこう思う、と自分の考えをもつことは、この先も必要な力です。もちろん他の人の考えを知ることで自分の考えが変わっていくことも素晴らしいことです。だからこそ、授業では見方や考え方を変えてみると新たな視点が生まれるかもしれない、という気付きを育みたいです。ぜひ自分なりの考えをもてる大人になってください。



（写真：とても仲のいい学年の先生たち。佐藤先生は一番左）

第41回卒業式～3年生が巣立って行きました～



中庭のしだれ桜は、この日に合わせたかのように満開で、枝いっぱいに花を咲かせた20日（月）、第41回卒業式を挙行しました。今年度は、ご来賓ならびに地域の方をお招きすることができ、喜多見中らしい、温かな式となりました。校長からは式辞の中で『桜、という植物は冬を越えないと咲かない。今後待ち受ける困難にも、決して負けることなく引き続きしなやかに乗り越え、花を咲かせ続ける姿を期待する。』という話がありました。胸を張って、爽やかに巣立っていった姿が印象的な三年生。これまで温かく見守っていただきました皆様に対し、心より御礼申し上げます。

3年生代表生徒4人による答辞より（抜粋）



僕たちにとって、新型コロナウイルスと闘い続けたこの中学校三年間は、貴重な時間でした。普段と違うからこそ出来たこと、例えばキャリアを考える三日間やミニ文化祭、音楽発表会、それらの体験で得たことはこれから的人生の大きな武器になります。なので、この中学校三年間を苦しみの多かった思い出だけにしたくはありません。毎日笑い合った友達、僕たちのことを一番近くで支えてくれた家族、そしてコロナ禍の学校生活を明るくするために支えてくれた先生方と共に闘い続けた三年間だと感じています。〈中略〉

思い返してみれば、私たちの行事全てがコロナウイルスと共にありました。もし、コロナウイルスがなかったらと後悔することもあるかもしれません。ですが、今日の卒業までを振り返ると、経験してきた行事全ては「楽しさ」に溢れていたはずです。確かに記憶の中のクラスメイトはマスクをつけていました。それでも、私はこれらの行事の思い出をなかったことにしたくはありません。それほどに行事一つ一つは輝いていて、かけがえのないものでした。そんな大切な思い出を忘れず、これからも過ごしていきたいです。



PTAより記念品

3月17日（金）卒業式予行の終了後、卒業生に対してPTAより卒業証書ホルダー、コサージュ、置時計の3点について記念品として贈呈されました。大切にさせていただきます。ありがとうございました。

行ってきました、鎌倉移動教室！（3月3日校外学習）



◎ 事後指導のレポートから…

最初から班行動は初めてだったけれど、事前にしっかりと予定を立て、下調べをしていたお陰で大きなトラブルもなくやり遂げることができた。班行動では一人一人が自律し、「普段とは違う」ということを意識して行動していた。あまり電車に詳しくない人が多かったが、詳しい者一人に頼ることなくしっかりした調べをしたことを思い出し、乗り遅れることなく移動できた。見学先では事前資料が少なく、正直あまり興味がなかった寺に行ったとき、その美しさに感動し、「百聞は一見如かず」と、来てよかったですと思うことができた。何事にも興味を持ち、挑戦することが大切と感じられる校外学習だった。

大きく成長、1年生「総合発表会」



3月15日および22日、一年生はとても良い雰囲気のなか、「総合発表会」を成功させ、また大きな成長を感じさせました。

「やってみようと思ったら、たとえ自分一人でもやった方がいい」—これは“13歳の主張”的スピーチの中のある生徒の言葉。たとえ不安や緊張があっても、チャレンジすることで次に繋がる自信と手応えが生まれてきます。また、周囲のチアがその一人のチャレンジを引き出し、そのチャレンジがまた他の人のチャレンジを引き出すという「やる気の循環」が一年生全体に生まれています。二年生に向け、更なる成長が楽しみです！



ダンスや吹奏楽のパフォーマンスにも大きな拍手が贈られました

今年度も大成功、KITAMI サッカーカップ

今年度のKITAMI サッカーカップは2月28日から3月10日までの期間に、春休みを利用して行いました。生徒会が主体となり、実行委員、各委員会、部活動が一体となり企画運営をしました。男女混合サッカーで、異学年との試合にはハンディがあるなど、今年度は更にルールを工夫して実施されました。当該学級だけでなく、非常にたくさんの生徒が観戦や応援のために校庭に集合する様子が定着し、今回も学校全体が大きく盛り上りました！



春休み中の生活指導について（ご家庭と協力のお願い）

保護者の皆様におかれましても、年度末は多忙を極め、なかなかお子様とゆっくり向き合う時間が少ないと存じます。しかし、子どもたちにとっての春休みは、期待と不安が交錯する特別な時期であり、ご家庭での適切な声掛けが不可欠です。4月からの新しい生活が円滑にスタートできるように、ご家庭においてぜひ、以下の事柄についてお子様と確認をする時間を設けてください。休業中も何かありましたら、遠慮せず学校にご相談ください。

- 不安や悩みを抱えたときには一人で抱え込みず、助けを求めることが大切です。また、警察を含めた身近にいる信頼できる大人に対してSOSを出すこと、相談窓口等がたくさんあるので利用しましょう。（連絡先一覧を配布済）
- 強い規範意識をもって、社会のルールを守ろうとする態度や正しい判断の下に行動することが大切です。特に性に関わる誘惑に負けないこと、暴力事案等に巻き込まれないように注意しましょう。
- コミュニティ型のWebサイトや無料通話アプリケーションの利用に関わるトラブル、過度な使用によるインターネット依存についても十分に注意をしましょう。SNSの正しい使い方を徹底し、事件や事故の被害者・加害者にならないよう細心の注意をはらいましょう。
- 交通事故に注意しましょう。特に自転車の乗り方については、ルールを守ること。万一、事故等が発生して加害者になった場合は大きな損害賠償を負う可能性があること。また、事故等が発生した際には、警察への通報や保護者、学校への報告等も確実に行うこと。
- 外出の際は家人に対し行き先、経路、同行者、帰宅予定時刻等を知らせ、できるだけ一人で行動しないこと。特に不審者と遭遇した際は、必ず110番通報をして地域の安全維持に協力すること。
- 電話等による個人情報の聞き出し等に十分注意すること。春休み中は、特にトラブルが多く寄せられています。名簿等の管理を徹底して、みんなで互いのプライバシーを守ることが大切です。

約束を守る

4月の予定から

- 4月 6日（木）始業式
7日（金）入学式
8日（土）土曜授業日 身体測定
10日（月）全校朝礼
11日（火）新入生歓迎会
14日（金）学習習得確認調査
18日（火）全国学力学習状況調査（3年生）
24日（月）1年生3者面談週間（～27日まで）
※2,3年生は希望制による面談を実施します。



始業式は4月6日（木）

【登校時刻】新2年生：8時00分から25分に昇降口前にて掲示される紙面で新クラスを確認後、新クラスへ移動。

新3年生：8時25分までに登校し、旧クラスで新学級の発表を聞いてから移動します。

【下校時刻】11時30分頃（給食なし）

【持ち物】上履き、雑巾、筆記用具、メモ帳、宿題など

4月の相談室の開室日

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

相談室直通ダイヤル 03-3417-5372

【担当SC】□：都築 ○：高瀬

【場所】相談室は中央校舎1階 保健室の隣です

本紙発行に際しましては、今年度の方々にご協力をいただきました。この場をお借りして感謝を申し上げます。ありがとうございました。また、来年度も精力的な取材と充実した紙面作りに努め、喜多見中学校の様子を積極的にお伝えしたいと思っております。引き続きどうぞよろしくお願いします。